

一般社団法人 日本心理臨床学会
国際ワークショップ（横浜：第32回秋季大会同時開催）
認知行動療法を使いこなすための実践講座

ワークショップ①「認知行動療法のケース・フォーミュレーションを学ぶ」

日程：2013年8月25日（日）10:00～17:00

ワークショップ②「社交不安障害の認知行動療法を学ぶ」

日程：2013年8月28日（水）09:00～16:00

会場：パシフィコ横浜…神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
（秋季大会会場内）

*①と②のワークショップの内容は異なります。以下の案内をご確認の上、希望するコースにお申込みください。同時通訳がつかます。両方を受講いただくことも可能です。なお、ワークショップ①と同時並行して心理臨床学会の自主シンポジウムが開催されておりますので、自主シンポジウムにご参加される場合には受講ができません。ご注意ください。また、ワークショップ②と同時（午前中のみ）並行して日本心理臨床学会の最終日のイベントが行われています。最終日に発表や司会など何らかの役割がある場合にも受講ができませんのでご注意ください。

参加費：8,000円

参加資格：日本心理臨床学会会員（臨床心理士の継続研修ポイントになります）

定員：両日とも100名（同時通訳付き）

ワークショップ内容：

◆ワークショップ①「認知行動療法のケース・フォーミュレーションを学ぶ」

認知行動療法を適切に実践するためには、理論や技法を有効な介入に結びつけるケース・フォーミュレーションの技能を習得しなければならない。個別の事例の問題の成り立ちを把握したうえで、その問題の特徴に合わせて認知行動療法の介入方針を組み立てるための手続きがケース・フォーミュレーションとなる。これは、日本語でいえば、介入方針に結びつく見立てに相当する。

本ワークショップでは、認知行動療法のケース・フォーミュレーションの理論と方法を解説した後、実際の事例をテーマとしてフォーミュレーションを作ってみるワークも予定している。講師は、日本の文化の特徴を考慮して、複雑な家族の文脈なども組み入れるフォーミュレーションも解説する予定である。

なお、認知行動療法の基本的知識を持っていることが参加の前提となるので、講師の所属するオックスフォード認知療法センターのテキストである「認知行動療法臨床ガイド」（金剛出版 2012）を事前に読んでおくことが強く望まれる。同時通訳が付き、案内役を下山晴彦（東京大学 臨床心理学コース）が務める。

◆ワークショップ②「社交不安障害の認知行動療法を学ぶ」

社交不安障害は、日本人に多い不安障害である。対人恐怖という形で明確に表れるものだけでなく、対人緊張や引きこもりなどの背景にこの社交不安障害が伏在している。不安障害の場合、対人場面での苦痛イメージが侵襲的に想起され、自意識過剰となり、現実からの回避が進行し、さらにそれが社交不安を高めるといった悪循環が生じる。社交不安障害の認知行動療法については、講師の元同僚である Clark and Wells のモデルがあり、その有効性は効果研究で実証済である。

本ワークショップでは、Clark and Wells モデルをベースとした具体的介入技法を解説する。また、社交不安の原因として、児童期の“いじめ”によるトラウマ体験などが背景としてあることが多い。日本ではいじめが多いことを考慮して、参加者との対話も積極的に取り入れ、日本社会に適した不安障害の認知行動療法を解説する予定である。

なお、認知行動療法の基本的知識を持っていることが参加の前提となるので、講師の所属するオックスフォード認知療法センターのテキストである「認知行動療法臨床ガイド」（金剛出版 2012）を事前に読んでおくことが強く望まれる。同時通訳が付き、案内役を藤岡勲（東京大学 学生相談所）が務める。

講師：Candida Richards

オックスフォード大学及びグラスゴー大学で学位取得後に、主に医療現場において臨床心理士として勤務した後にオックスフォード大学の講師及び臨床スーパーバイザーを経て現在は、オックスフォード認知療法センター (<http://www.octc.co.uk/>) のトレーナーを務める。その他に、オックスフォード大学医学部精神医学部門の不安障害研究チームの副部長を兼務。専門は不安障害の認知行動療法、産業領域の心理支援など。

【申込方法】

- 1.同封の申込はがきに会員番号を必ずご記入の上、学会事務局へ送付してください。7月1日(月)締切で、定員を超える場合は抽選を行います。余裕がある場合には、締切後も受け付けます。なお、ホームページ (<http://www.ajcp.info/>)からの申込も可能です。ホームページから申込をされた場合は、はがきの送付は不要です。
- 2.参加いただけることが確定した場合は、振込用紙をお送りしますので、その用紙を使用して、必ず7月31日(水)までに参加費をお振り込みください。定員の都合上、残念ながら参加いただけない場合は、その旨のご案内を送らせていただきます。なお、取消は他の参加希望者の迷惑となりますので、避けてください。
- 3.参加が確定し、お振り込みが確認できた方には、領収書、参加章等を8月中旬に発送の予定です。
- 4.自己都合による取消の際は、参加費の返金はできません。

《問合せ先》

一般社団法人 日本心理臨床学会 事務局内 国際ワークショップ係
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-14 山崎ビル 501
TEL:03-3817-5851 FAX:03-3817-7800